

第8期茅ヶ崎市障がい者保健福祉計画策定
アンケート調査報告書
【集計結果】

令和8年1月

茅ヶ崎市

目次

第1章 調査概要	4
1 調査の目的	5
2 調査方法	5
3 調査票の配付・回収数	5
4 留意事項	6
第2章 集計結果	8
1 ご本人のことについて	9
2 情報の取得について	27
3 悩みごとや心配ごとについて	31
4 障がい理解について	37
5 健康・医療について	40
6 日常生活について	43
7 働くことについて	48
8 就学・就労について	51
9 趣味や外出について	56
10 障がいの認知・進路選択について	60
11 安全・安心な暮らしについて	71

第1章 調査概要

1 調査の目的

このアンケート調査（以下、本調査）は、障がいのある方を対象に、障がいの状況や日常生活での困りごと、施策に対する意見や要望等を伺い、令和9年度から始まる「第8期茅ヶ崎市障がい者保健福祉計画」を策定するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査方法

実施時期	令和7年9月30日（火）～12月4日（木）
実施方法	<ul style="list-style-type: none">・身体障がいの方、知的障がいの方、精神障がいの方、障がい児、強度行動障がいの方については、各対象の方に郵送による発送・回収を実施。・発達障がい・高次脳機能障がいの方、難病の方については、関係団体や地域活動支援センター等に配付を依頼し、各対象から郵送による回収を実施。・すべての調査において、インターネットからの回答も可。

3 調査票の配付・回収数

各調査の対象者・配付・回収等については、下表のとおりです。
全体で1,300票配付し、669票（回収率51.5%）の回収がありました。

調査票区分	対象者 (基準日：令和7年9月1日時点)	配付数	回収数
身体障がい	市内在住で18歳以上の身体障害者手帳所持者から無作為抽出	598件	345件 (57.7%)
知的障がい	市内在住で18歳以上の療育手帳所持者から無作為抽出	136件	64件 (47.1%)
精神障がい	市内在住で18歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者から無作為抽出	287件	124件 (43.2%)
強度行動障がい	市内在住、在勤・在学等で強度行動障がいの診断を受けている方	40件	18件 (45.0%)
発達障がい・ 高次脳機能障がい	市内在住、在勤・在学等で発達障がいあるいは高次脳機能障がいの診断を受けている方	40件	25件 (62.5%)
難病	市内在住、在勤・在学等で難病（376疾患）の診断を受けている方	40件	14件 (35.0%)
障がい児	市内在住で18歳未満の身体障害者手帳、療育手帳あるいは精神障害者保健福祉手帳所持者、障害児通所給付の支給決定を受けている方から無作為抽出	159件	79件 (49.7%)

4 留意事項

- 設問には1つのみ答える単数回答と、複数回答があり、複数回答の設問では表記の割合の合計が100%を超えます。
- 表中の割合は選択肢ごとに回答者数(n)を基数とした百分率で表し、小数第二位で四捨五入しているため、その割合の合計が100%にならないものがあります。
- 設問文や選択肢について、内容を損なわない範囲で要約して表記したものがあります。
- 身体障がい(身体)、知的障がい(知的)、精神障がい(精神)、発達障がい・高次脳機能障がい(発達・高次)、強度行動障がい(行動)、難病の調査項目は共通となっており、障がい児では一部調査項目が異なります。調査票種別に対応する問番号は以下のように表しています。

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病	問 00	障がい児	問 00
----------------------	------	------	------

第2章 集計結果

1 ご本人のことについて

(1) アンケートの記入者 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病	—	障がい児	—
----------------------	---	------	---

○全体では、「ご本人が記入」(46.3%)が最も高くなっています。

○障がい種別にみると、身体障がい、精神障がい、難病では「ご本人が記入」、知的障がい、強度行動障がい、障がい児では「ご本人の意見を確認することが難しいので、ご家族や介護者、事業所の職員などが記入」、発達障がい・高次脳機能障がいでは「ご本人の意見をご家族や介護者などが記入」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
ご本人が記入	%	46.3	55.7	32.8	62.1	0.0	40.0	57.1	2.5
ご本人の意見をご家族や介護者などが記入	%	17.5	15.7	12.5	8.9	22.2	44.0	14.3	34.2
ご本人の意見を確認することが難しいので、ご家族や介護者、事業所の職員などが記入	%	14.8	4.6	34.4	4.8	72.2	4.0	14.3	49.4
無回答	%	21.4	24.1	20.3	24.2	5.6	12.0	14.3	13.9

(2) 性別 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問1

障がい児 問1

○全体では、「男性」(56.1%)、「女性」(42.8%)となっています。

○障がい種別でみると、身体障がい、知的障がい、強度行動障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、障がい児では「男性」、精神障がいでは「女性」と回答した割合が高くなっており、難病では「男性」、「女性」と回答した割合がそれぞれ50.0%となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
男性	%	56.1	54.2	53.1	44.4	72.2	68.0	50.0	78.5
女性	%	42.8	45.2	46.9	50.8	27.8	32.0	50.0	21.5
どちらでもない	%	0.3	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0
答えたくない	%	0.1	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	%	0.7	0.6	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 年齢 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問2

障がい児 問2

○全体では、「65～74歳」(14.9%)、「75歳以上」(27.7%)となっており、あわせると42.6%が高齢者となっています。

○障がい種別の内訳は下表のとおりです。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
10歳未満	%	7.6							64.6
10歳代	%	5.7	0.3	4.7	0.8	22.2	4.0	0.0	35.4
20歳代	%	6.0	1.4	26.6	6.5	33.3	12.0	7.1	
30歳代	%	8.2	2.6	17.2	21.0	16.7	20.0	7.1	
40歳代	%	10.6	4.3	18.8	24.2	27.8	24.0	21.4	
50歳代	%	12.9	12.8	17.2	20.2	0.0	12.0	21.4	
60～64歳	%	6.0	4.9	6.3	9.7	0.0	16.0	21.4	
65～74歳	%	14.9	22.0	6.3	12.9	0.0	12.0	7.1	
75歳以上	%	27.7	51.3	1.6	4.0	0.0	0.0	14.3	
無回答	%	0.4	0.3	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	

(4) 現在お住まいの地区 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問3

障がい児 問3

○全体では、「鶴嶺東地区」(12.7%)と回答した割合が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、回答した割合が最も高いのは、身体障がいでは「湘北地区」、知的障がい、障がい児では「鶴嶺東地区」、精神障がいでは「松林地区」、強度行動障がいでは「湘北地区」、発達障がい・高次脳機能障がいでは「松浪地区」、難病では「茅ヶ崎南地区」、「湘北地区」となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
茅ヶ崎地区	%	10.8	9.0	15.6	14.5	5.6	12.0	14.3	8.9
茅ヶ崎南地区	%	5.2	6.4	3.1	4.8	5.6	0.0	21.4	1.3
南湖地区	%	4.9	6.4	3.1	0.8	11.1	4.0	7.1	5.1
海岸地区	%	6.3	6.7	1.6	5.6	5.6	12.0	0.0	8.9
鶴嶺東地区	%	12.7	11.6	17.2	11.3	11.1	4.0	7.1	20.3
鶴嶺西地区	%	7.0	7.2	10.9	6.5	5.6	4.0	0.0	6.3
湘南地区	%	7.5	9.0	4.7	6.5	16.7	8.0	0.0	3.8
松林地区	%	10.8	10.4	7.8	15.3	5.6	4.0	14.3	10.1
湘北地区	%	12.4	11.9	15.6	13.7	5.6	12.0	21.4	10.1
小和田地区	%	4.0	4.6	3.1	2.4	11.1	0.0	7.1	3.8
松浪地区	%	7.0	6.4	6.3	6.5	5.6	16.0	0.0	10.1
浜須賀地区	%	5.2	5.5	3.1	4.0	11.1	8.0	0.0	6.3
小出地区	%	4.5	4.1	7.8	4.8	0.0	0.0	7.1	5.1
無回答	%	1.6	0.9	0.0	3.2	0.0	16.0	0.0	0.0

(5) 認定を受けている障がいの種類や等級等

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病

問4

障がい児

問4

① 身体障害者手帳の等級 【単数回答】

○身体障がいでは、「1級」(32.2%)と回答した割合が最も高く、「4級」(20.9%)と続きます。

○身体障がい以外の障がい種別でみると、身体障害者手帳の取得をしている割合は、知的障がいでは17.3%、精神障がいでは12.1%、強度行動障がいでは22.4%、発達障がい・高次脳機能障がいでは32.0%、難病では42.7%、障がい児では3.8%となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
1級	%	18.4	32.2	6.3	2.4	5.6	8.0	7.1	1.3
2級	%	9.9	11.9	6.3	9.7	5.6	20.0	21.4	0.0
3級	%	6.9	12.2	1.6	0.0	0.0	4.0	0.0	2.5
4級	%	11.2	20.9	3.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0
5級	%	3.0	5.5	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0
6級	%	3.1	5.5	0.0	0.0	5.6	0.0	7.1	0.0
無回答	%	47.5	11.9	82.8	87.9	77.8	68.0	57.1	96.2

② 身体障害者手帳の種類 【複数回答】

○身体障がいでは、「肢体不自由」(31.0%)と回答した割合が最も高くなっています。

○身体障がい以外の障がい種別でみると、知的障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、障がい児では、「肢体不自由」、精神障がいでは「内部障がい」、難病では「肢体不自由」、「内部障がい」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
視覚	%	4.0	7.5	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
聴覚	%	6.0	11.3	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0
音声・言語	%	0.9	1.2	1.6	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0
肢体不自由	%	18.4	31.0	9.4	0.8	0.0	20.0	14.3	2.5
内部	%	15.5	27.5	1.6	4.0	0.0	0.0	14.3	1.3
無回答(該当なし)	%	57.2	24.6	87.5	96.0	100.0	76.0	71.4	96.2

③ 療育手帳の等級 【単数回答】

○知的障がいでは、「B 2」(31.3%)と回答した割合が最も高くなっています。

○知的障がい以外の障がい種別でみると、療育手帳の取得をしている割合は、身体障がい、精神障がい、難病では10%未満となっていますが、強度行動障がいでは94.5%、発達障がい・高次脳機能障がいでは24.0%、障がい児では26.6%となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
A 1	%	6.3	2.3	20.3	0.8	61.1	12.0	7.1	6.3
A 2	%	3.4	0.9	15.6	0.8	22.2	4.0	0.0	5.1
B 1	%	3.6	0.0	26.6	0.8	5.6	4.0	0.0	5.1
B 2	%	4.6	0.0	31.3	0.8	5.6	4.0	0.0	10.1
無回答(該当なし)	%	82.1	96.8	6.3	96.8	5.6	76.0	92.9	73.4

④ 精神障害者保健福祉手帳の等級 【単数回答】

○精神障がいでは、「2級」(62.1%)と回答した割合が最も高くなっています。

○精神障がい以外の障がい種別でみると、精神障害者保健福祉手帳の取得をしている割合は、身体障がい、知的障がい、障がい児では10%未満となっていますが、強度行動障がいでは11.2%、発達障がい・高次脳機能障がいでは40.0%、難病では14.3%となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
1級	%	3.0	2.0	1.6	8.1	5.6	4.0	0.0	0.0
2級	%	13.8	0.9	1.6	62.1	5.6	28.0	14.3	1.3
3級	%	4.9	0.6	0.0	22.6	0.0	8.0	0.0	1.3
無回答(該当なし)	%	78.3	96.5	96.9	7.3	88.9	60.0	85.7	97.5

⑤ 自立支援医療（精神通院医療）の受給の有無 【単数回答】

○全体では、18.5%が「受給している」と回答しています。

○障がい種別でみると、「受給している」と回答した割合は、身体障がい、強度行動障がい、難病、障がい児では10%未満となっていますが、知的障がいでは17.2%、精神障がいでは75.0%、発達障がい・高次脳機能障がいでは32.0%となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
受給している	%	18.5	2.3	17.2	75.0	5.6	32.0	7.1	2.5
無回答(該当なし)	%	81.5	97.7	82.8	25.0	94.4	68.0	92.9	97.5

⑥ 医師等から診断を受けているもの 【複数回答】

○強度行動障がいでは、「発達障がい」が 55.6%、「強度行動障がいと言われたことがある」が 16.7%となっています。

○発達障がい・高次脳機能障がいでは、「発達障がい」が 36.0%、「強度行動障がいと言われたことがある」が 12.0%「高次脳機能障がい」が 40.0%となっています。

○難病では、無回答を除く全員が「難病」と回答しています。

○強度行動障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、難病以外の障がい種別でみると、「発達障がい」、「強度行動障がいと言われたことがある」、「高次脳機能障がい」、「難病」のいずれかの診断を受けている割合は、身体障がいでは 6.7%、知的障がいでは 34.4%、精神障がいでは 25.8%、障がい児では 50.6%となっています。また、「発達検査のみ受検」と回答した割合は、身体障がい、知的障がい、精神障がいでは 10%未満となっていますが、障がい児の 20.3%となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
発達障がい	%	14.5	0.3	28.1	18.5	55.6	36.0	0.0	45.6
強度行動障がいと言われたことがある	%	2.1	0.6	3.1	0.8	16.7	12.0	0.0	3.8
発達検査のみ受検	%	3.0	0.3	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	20.3
高次脳機能障がい	%	3.1	2.3	0.0	1.6	5.6	40.0	0.0	0.0
難病	%	4.9	3.8	4.7	5.6	5.6	0.0	42.9	3.8
無回答(該当なし)	%	74.0	93.0	64.1	72.6	33.3	20.0	57.1	30.4

(6) 現在、生活している場所・人

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病

問5

障がい児

問5

問5-1

問5-1

① 生活している場所 【単数回答】

○全体では、「自宅」(81.9%)と回答した割合が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「自宅」と回答した割合が高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい	発達障がい	難病
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
自宅	%	81.9	81.7	68.8	77.4	100.0	76.0	92.9	96.2
病院に入院	%	2.7	2.6	0.0	5.6	0.0	0.0	7.1	1.3
グループホームに入居	%	3.7	1.4	10.9	8.1	0.0	12.0	0.0	
施設等に入所	%	3.6	4.6	4.7	2.4	0.0	4.0	0.0	1.3
その他	%	1.0	1.2	1.6	0.8	0.0	4.0	0.0	0.0
無回答	%	7.0	8.4	14.1	5.6	0.0	4.0	0.0	1.3

※①で「自宅」と回答した方のみ

② 生活している人 【複数回答】

○全体では、「親」(40.3%)と回答した割合が最も高く、「配偶者」(34.1%)と続きます。なお、「一人暮らし」と答えた割合は、15.1%となっています。

○障がい種別でみると、身体障がい、難病では「配偶者」、知的障がい、精神障がい、強度行動障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、障がい児では「親」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病	障がい児
回答者数	件	548	282	44	96	18	19	13	76
一人暮らし	%	15.1	20.6	6.8	19.8	0.0	0.0	23.1	0.0
配偶者	%	34.1	54.3	0.0	22.9	5.6	31.6	38.5	0.0
親	%	40.3	11.7	86.4	44.8	94.4	57.9	30.8	98.7
子ども	%	18.2	28.7	0.0	14.6	5.6	10.5	15.4	0.0
兄弟・姉妹	%	18.1	4.6	29.5	12.5	33.3	21.1	23.1	63.2
祖父・祖母	%	2.6	0.4	6.8	2.1	5.6	0.0	0.0	9.2
施設などの職員や仲間	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	%	2.9	2.5	2.3	5.2	5.6	0.0	7.7	1.3
無回答	%	2.0	1.1	4.5	4.2	0.0	5.3	0.0	1.3

(7) 月収 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問6

障がい児 問6

○全体では、「1万円以上10万円未満」(31.4%)と回答した割合が最も高く、「10万円以上20万円未満」(26.0%)と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がいでは「10万円以上20万円未満」、知的障がい、精神障がい、強度行動障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、難病では「1万円以上10万円未満」、障がい児では「なし」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
1万円未満	%	2.1	1.2	3.1	4.0	5.6	8.0	0.0	0.0
1万円以上10万円未満	%	31.4	27.2	53.1	41.1	61.1	40.0	42.9	5.1
10万円以上20万円未満	%	26.0	31.3	29.7	31.5	0.0	20.0	21.4	0.0
20万円以上	%	17.2	28.7	6.3	5.6	0.0	12.0	14.3	0.0
なし	%	20.9	8.7	3.1	16.1	33.3	16.0	21.4	94.9
無回答	%	2.4	2.9	4.7	1.6	0.0	4.0	0.0	0.0

(8) 障害福祉サービス等の利用について

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病	問7	障がい児	問7
	問7-1		問7-1
	問7-2		問7-2
	問7-3		問7-3
	問7-4		問7-4
	問7-5		問7-5

① サービス等の利用の有無 【単数回答】

○全体では、「利用していない」(56.2%)と回答した割合の方が高くなっています。

○障がい種別でみると、「利用している」と回答した割合は、強度行動障がい、障がい児では70%以上、知的障がい、発達障がい・高次脳機能障がいでは40%以上となっていますが、身体障がい(13.3%)、精神障がい(25.8%)、難病(21.4%)では低くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
利用している	%	29.6	13.3	45.3	25.8	72.2	48.0	21.4	79.7
利用していない	%	56.2	71.6	32.8	64.5	5.6	32.0	64.3	12.7
無回答	%	14.2	15.1	21.9	9.7	22.2	20.0	14.3	7.6

※①で「利用している」と回答した方のみ

② 利用している障害福祉サービス等 【複数回答】

○障がい者では、「生活介護」（15.2%）と回答した割合が最も高く、「就労継続支援（B型）」（12.6%）、「計画相談支援」（10.6%）と続き、障がい児では、「放課後等デイサービス」（65.1%）と回答した割合が最も高く、「児童発達支援」（42.9%）、「障害児相談支援」（12.7%）と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がいでは「居宅介護」、知的障がい、精神障がいでは「就労継続支援（B型）」、強度行動障がいでは「短期入所」、発達障がい・高次脳機能障がいでは「地域活動支援センター」、難病では「生活介護」、「就労継続支援（B型）」、「就労定着支援」、「日中一時支援」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	198	46	29	32	13	12	3	63
居宅介護	%	10.1	26.1	6.9	12.5	0.0	16.7	0.0	0.0
重度訪問介護	%	1.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
同行援護	%	5.1	15.2	0.0	6.3	0.0	8.3	0.0	0.0
行動援護	%	1.5	4.3	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
重度障害者等包括支援	%	0.5	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
短期入所	%	7.6	4.3	6.9	0.0	69.2	8.3	0.0	1.6
療養介護	%	2.0	6.5	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生活介護	%	15.2	19.6	27.6	9.4	53.8	16.7	33.3	0.0
施設入所支援	%	5.1	8.7	10.3	3.1	0.0	8.3	0.0	1.6
自立生活援助	%	3.0	4.3	0.0	6.3	7.7	8.3	0.0	
共同生活援助	%	8.6	2.2	24.1	28.1	0.0	0.0	0.0	
自立訓練(機能訓練)	%	4.0	15.2	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	
自立訓練(生活訓練)	%	2.5	4.3	6.9	0.0	0.0	8.3	0.0	
就労移行支援	%	2.5	0.0	3.4	12.5	0.0	0.0	0.0	
就労継続支援(A型)	%	0.5	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	
就労継続支援(B型)	%	12.6	4.3	31.0	31.3	0.0	25.0	33.3	
就労定着支援	%	2.5	0.0	3.4	9.4	0.0	0.0	33.3	
計画相談支援	%	10.6	8.7	20.7	21.9	23.1	8.3	0.0	
地域移行支援	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
地域定着支援	%	0.5	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
日中一時支援	%	9.6	4.3	6.9	0.0	61.5	25.0	33.3	4.8
移動支援	%	8.1	6.5	20.7	12.5	15.4	8.3	0.0	0.0
地域活動支援センター	%	11.1	15.2	10.3	15.6	7.7	50.0	0.0	
児童発達支援	%	13.6							42.9
放課後等デイサービス	%	20.7							65.1
保育所等訪問支援	%	2.5							7.9
障害児相談支援	%	4.0							12.7
無回答	%	3.5	13.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※①で「利用している」と回答した方のみ

③ 障害福祉サービス等の利用で困ったこと 【複数回答】

○全体では、「特にない」(77.2%)と回答した割合が最も高くなっています。困ったことがある方の回答としては、「希望通りの時間や日数の利用ができない」(14.5%)が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「特にない」と回答した割合が最も高くなっています。困ったことがある方の回答としては、身体障がいでは「利用料金が負担になっている」、知的障がい、精神障がい、難病では「事業所の職員や他の利用者とうまくいかないことがある」、強度行動障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、障がい児では「希望通りの時間や日数の利用ができない」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい	発達障がい	難病
利用している障害福祉サービス等回答数	件	241	72	55	55	31	24	4	86
希望通りの時間や日数の利用ができない	%	14.5	9.7	1.8	1.8	22.6	25.0	0.0	15.1
事業所の職員や他の利用者とうまくいかないことがある	%	6.2	1.4	5.5	7.3	3.2	4.2	25.0	4.7
利用料金が負担になっている	%	8.7	15.3	0.0	1.8	0.0	4.2	0.0	9.3
特にない	%	77.2	54.2	49.1	70.9	38.7	45.8	50.0	65.1
その他	%	7.9	0.0	3.6	10.9	6.5	16.7	25.0	4.7
無回答	%	25.7	22.2	40.0	10.9	29.0	12.5	0.0	7.0

※③で「希望通りの時間や日数の利用ができない」と回答した方のみ

④ 希望通りの時間や日数の利用ができない理由 【複数回答】

○全体では、「事業所と希望通りの時間や日数で契約できなかった」(40.0%)と回答した割合が最も高く、「希望通りの時間や日数を市が認めてくれなかった」、「利用できる事業所が見つからなかった」(17.1%)と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がいでは「希望通りの時間や日数を市が認めてくれなかった」、知的障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、障がい児では「事業所と希望通りの時間や日数で契約できなかった」、強度行動障がいでは「利用できる事業所が見つからなかった」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病	障がい児
「希望通りの時間や日数の利用ができない」回答数	件	35	7	1	1	7	6	—	13
希望通りの時間や日数を市が認めてくれなかった	%	17.1	57.1	0.0	0.0	28.6	0.0	—	0.0
事業所と希望通りの時間や日数で契約できなかった	%	40.0	0.0	100.0	0.0	14.3	33.3	—	76.9
利用できる事業所が見つからなかった	%	17.1	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0	—	23.1
その他	%	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	66.7	—	23.1
無回答	%	11.4	0.0	0.0	100.0	14.3	0.0	—	15.4

※①で「利用している」と回答した方のみ

⑤ 利用計画書を作成している人 【単数回答】

○全体では、「本人または家族等が作成している（セルフプラン）」が41.4%、「相談支援事業所が作成している」が44.4%となっています。

○障がい種別でみると、身体障がい、知的障がい、強度行動障がい、難病では「相談支援事業所が作成している」、精神障がい、障がい児では「本人または家族等が作成している（セルフプラン）」と回答した割合が高くなっています。発達障がい・高次脳機能障がいでは「本人または家族等が作成している（セルフプラン）」と「相談支援事業所が作成している」の回答は同じ割合となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	198	46	29	32	13	12	3	63
本人または家族等が作成している（セルフプラン）	%	41.4	19.6	37.9	46.9	30.8	41.7	33.3	58.7
相談支援事業所が作成している	%	44.4	58.7	48.3	37.5	53.8	41.7	66.7	33.3
無回答	%	14.1	21.7	13.8	15.6	15.4	16.7	0.0	7.9

※⑤で「本人または家族等が作成している（セルフプラン）」と回答した方のみ

⑥ 本人または家族等が作成（セルフプラン）している理由 【複数回答】

○全体では、「本人または家族が作成しているが、事業所が補助してくれている」（42.7%）と回答した割合が最も高く、「本人または家族のみで作成しようと考えたため」（17.1%）、「相談支援事業所を知らなかった」（15.9%）と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がい、知的障がい、精神障がい、障がい児では「本人または家族が作成しているが、事業所が補助してくれている」、強度行動障がいでは「本人または家族のみで作成しようと考えたため」、発達障がい・高次脳機能障がい、難病では「相談支援事業所を知らなかった」と回答した割合が高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病	障がい児
回答者数	件	82	9	11	15	4	5	1	37
本人または家族が作成しているが、事業所が補助してくれている	%	42.7	88.9	45.5	53.3	25.0	20.0	0.0	32.4
相談支援事業所に作成してほしかったが、本人または家族が作成している	%	12.2	0.0	18.2	13.3	25.0	0.0	0.0	13.5
本人または家族のみで作成しようと考えたため	%	17.1	0.0	9.1	13.3	50.0	20.0	0.0	21.6
相談支援事業所を知らなかった	%	15.9	0.0	9.1	13.3	0.0	40.0	100.0	18.9
その他	%	4.9	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4
無回答	%	7.3	11.1	0.0	6.7	0.0	20.0	0.0	8.1

2 情報の取得について

(1) 福祉サービス等の情報をどこから取得しているか 【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問8

障がい児 問8

○全体では、「特になし」(27.4%)と回答した割合が最も高く、「広報ちがさき」(25.6%)、「家族や友人」(21.2%)と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がいでは「広報ちがさき」、知的障がいでは「障がい福祉サービス事業所等」、精神障がいでは「特になし」、強度行動障がいでは「相談支援事業所」、発達障がい・高次脳機能障がい、障がい児では「家族や友人」、難病では「ホームページ」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
広報ちがさき	%	25.6	35.7	9.4	16.1	11.1	12.0	35.7	15.2
ホームページ	%	14.6	11.0	4.7	21.8	11.1	16.0	42.9	22.8
ちがさき障がい者支援アプリ	%	4.9	2.9	7.8	4.0	5.6	0.0	7.1	13.9
X(旧Twitter(ツイッター))	%	1.5	0.9	1.6	3.2	0.0	0.0	7.1	1.3
Facebook(フェイスブック)	%	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	1.3
LINE(ライン)	%	2.4	1.7	1.6	3.2	0.0	8.0	7.1	2.5
新聞	%	4.9	6.4	1.6	6.5	0.0	0.0	7.1	1.3
テレビ	%	8.8	11.0	7.8	8.9	0.0	8.0	0.0	3.8
障がい福祉サービス事業所等	%	16.3	10.1	35.9	12.9	38.9	20.0	14.3	26.6
相談支援事業所	%	15.7	11.0	25.0	12.9	61.1	24.0	7.1	21.5
家族や友人	%	21.2	15.1	26.6	15.3	38.9	36.0	7.1	46.8
その他	%	7.6	6.7	4.7	5.6	16.7	24.0	7.1	10.1
特になし	%	27.4	32.2	18.8	32.3	5.6	12.0	14.3	17.7
無回答	%	4.9	4.9	6.3	6.5	0.0	0.0	0.0	5.1

(2) 家族や友人等との意思疎通の方法 【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問9

障がい児 問9

○全体では、「声」(80.7%)と回答した割合が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「声」と回答した割合が最も高くなっています。また、強度行動障がいでは、他の障がいと比べて「意思疎通が難しい」(38.9%)と回答した割合が高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次発達脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
声	%	80.7	80.0	73.4	87.9	55.6	72.0	78.6	87.3
手話	%	0.7	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
筆談	%	0.7	1.2	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0
重度障害者用意思伝達装置(補装具)	%	0.4	0.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
タブレット・スマートフォン	%	4.3	4.1	7.8	5.6	0.0	4.0	7.1	1.3
意思疎通が難しい	%	5.1	2.0	9.4	2.4	38.9	8.0	7.1	10.1
その他	%	2.1	2.6	0.0	0.8	5.6	8.0	0.0	1.3
無回答	%	5.8	8.1	7.8	3.2	0.0	4.0	7.1	0.0

(3) 携帯電話、スマートフォンやタブレットについて所持・利用しているか

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病	問 10	障がい児	問 10
	問 10-1		問 10-1

① 携帯電話、スマートフォンやタブレットを持っているか 【単数回答】

○全体では、「はい」(68.5%)と回答した割合の方が高くなっています。

○障がい種別で見ると、身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、難病では「はい」、強度行動障がい、障がい児では「いいえ」と回答した割合の方が高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい	発達障がい	難病
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
はい	%	68.5	74.5	65.6	82.3	5.6	64.0	71.4	38.0
いいえ	%	24.1	17.1	25.0	12.9	88.9	20.0	21.4	58.2
無回答	%	7.5	8.4	9.4	4.8	5.6	16.0	7.1	3.8

※①で「はい」と回答した方のみ

② 携帯電話、スマートフォンやタブレットで情報を取得しているか 【単数回答】

○全体では、「はい」(70.5%)と回答した割合の方が高くなっています。

○障がい種別で見ると、身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、難病では「はい」、強度行動障がい、障がい児では「いいえ」と回答した割合の方が高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい	発達障がい	難病
回答者数	件	458	257	42	102	1	16	10	30
はい	%	70.5	68.9	66.7	83.3	0.0	68.8	100.0	40.0
いいえ	%	27.1	28.0	33.3	13.7	100.0	31.3	0.0	60.0
無回答	%	2.4	3.1	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0

(4) 市が作成したチラシや冊子などの表現がわかりにくいか 【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 11

障がい児 問 11

○全体では、「特にない」(59.8%)と回答した割合が最も高くなっています。表現がわかりにくいと感じた方の回答としては、「内容がよくわからない」(21.7%)が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、難病、障がい児では「特にない」、知的障がい、強度行動障がいでは「内容がよくわからない」と回答した割合が最も高くなっています。表現がわかりにくいと感じた方の回答としては、いずれの障がいにおいても「内容がよくわからない」が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
漢字が難しい	%	7.0	2.9	15.6	6.5	11.1	16.0	0.0	16.5
内容がよくわからない	%	21.7	12.8	40.6	29.0	50.0	32.0	14.3	25.3
その他	%	9.0	6.4	14.1	4.0	11.1	16.0	7.1	21.5
特にない	%	59.8	71.3	35.9	61.3	22.2	36.0	71.4	40.5
無回答	%	8.5	10.4	10.9	4.0	16.7	4.0	7.1	5.1

3 悩みごとや心配ごとについて

(1) 悩みごとや心配ごとの種類 【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 12

障がい児 問 12

○全体では、「自分の健康や治療のこと」(47.4%)と回答した割合が最も高く、「生活費など経済的なこと」(39.6%)、「緊急時や災害時のこと」(32.1%)と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がい、難病では「自分の健康や治療のこと」、知的障がい、強度行動障がいでは「親亡き後のこと」、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がいでは「生活費など経済的なこと」、障がい児では「進学、就職のこと」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
住まいのこと	%	21.4	17.1	17.2	39.5	44.4	44.0	14.3	3.8
恋愛や結婚のこと	%	6.9	2.3	9.4	17.7	0.0	12.0	14.3	6.3
自分の健康や治療のこと	%	47.4	50.1	23.4	63.7	44.4	48.0	85.7	22.8
生活費など経済的なこと	%	39.6	33.3	31.3	69.4	44.4	52.0	57.1	19.0
進学、就職のこと	%	13.3	2.9	12.5	16.1	16.7	16.0	21.4	51.9
家族や地域での人間関係のこと	%	13.9	7.5	12.5	28.2	16.7	24.0	7.1	17.7
職場や施設内での人間関係のこと	%	14.9	3.5	26.6	19.4	16.7	32.0	14.3	43.0
親亡き後のこと	%	25.0	7.2	43.8	45.2	88.9	48.0	21.4	34.2
緊急時や災害時のこと	%	32.1	34.8	21.9	28.2	66.7	48.0	21.4	24.1
その他	%	4.6	5.5	4.7	2.4	5.6	0.0	21.4	2.5
特に悩みや心配はない	%	16.3	19.7	28.1	4.0	5.6	8.0	0.0	19.0
無回答	%	4.2	5.5	3.1	3.2	0.0	4.0	0.0	2.5

(2) 相談支援事業所、地域包括支援センターの認知度・利用状況

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病	問 13	障がい児	問 13
	問 13-1		問 13-1
	問 14		問 14
	問 14-1		問 14-1

① 相談支援事業所（※）（認知度） 【単数回答】

※障害者生活支援センター、生活相談室とれいん、地域生活支援センター元町の家、相談支援センターつみき

○全体では、「いいえ」(58.7%)と回答した割合の方が高くなっています。

○障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい、難病、障がい児では「いいえ」、知的障がい、強度行動障がい、発達障がい・高次脳機能障がいでは「はい」と回答した割合の方が高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
はい	%	32.7	21.2	53.1	40.3	77.8	48.0	21.4	41.8
いいえ	%	58.7	68.4	32.8	56.5	11.1	44.0	71.4	54.4
無回答	%	8.5	10.4	14.1	3.2	11.1	8.0	7.1	3.8

※①で「はい」と回答した方のみ

② 相談支援事業所（利用有無） 【単数回答】

○全体では、「いいえ」（58.0%）と回答した割合の方が高くなっています。

○障がい種別で見ると、身体障がい、精神障がい、強度行動障がいでは「はい」、知的障がい、難病、障がい児では「はい」と回答した割合の方が高くなっています。発達障がい・高次脳機能障がいでは「はい」と「いいえ」の割合は同じ割合となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	219	73	34	50	14	12	3	33
はい	%	39.7	24.7	58.8	32.0	42.9	50.0	66.7	57.6
いいえ	%	58.0	71.2	41.2	68.0	57.1	50.0	33.3	36.4
無回答	%	2.3	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1

③ 地域包括支援センター（認知度） 【単数回答】

○全体では、「いいえ」（50.1%）と回答した割合の方が高くなっています。

○障がい種別で見ると、身体障がい、強度行動障がいでは「はい」、知的障がい、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、難病、障がい児では「いいえ」と回答した割合の方が高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
はい	%	40.8	47.0	25.0	37.9	50.0	36.0	28.6	32.9
いいえ	%	50.1	43.5	59.4	55.6	38.9	52.0	57.1	63.3
無回答	%	9.1	9.6	15.6	6.5	11.1	12.0	14.3	3.8

※③で「はい」と回答した方のみ

④ 地域包括支援センター（利用有無） 【単数回答】

○全体では、「いいえ」（70.7%）と回答した割合の方が高くなっています。

○障がい種別で見ると、身体障がい、知的障がい、精神障がい、強度行動障がい、障がい児では「いいえ」、発達障がい・高次脳機能障がいでは「はい」と回答した割合の方が高くなっています。難病では「はい」と「いいえ」の割合は同じ割合となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病	障がい児
回答者数	件	273	162	16	47	9	9	4	26
はい	%	26.0	28.4	31.3	19.1	11.1	66.7	50.0	7.7
いいえ	%	70.7	68.5	68.8	74.5	88.9	33.3	50.0	88.5
無回答	%	3.3	3.1	0.0	6.4	0.0	0.0	0.0	3.8

(3) 悩みごとや心配ごとにおける家族や親戚、地域包括支援センター、相談支援事業所以外の相談相手 【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病

問 15

障がい児

問 15

○全体では、「病院（医師、看護師、ケースワーカーなど）」（32.3%）と回答した割合が最も高く、「友人・知人」（29.7%）と続きます。また、20.9%が「誰もいない」と回答しています。

○障がい種別でみると、身体障がい、難病では「友人・知人」、知的障がいでは「誰もいない」、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がいでは「病院（医師、看護師、ケースワーカーなど）」、強度行動障がいでは「福祉サービス事業所等の職員」、障がい児では「学校の先生」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
市役所・保健所の窓口	%	13.5	12.8	9.4	18.5	11.1	12.0	21.4	11.4
民生委員・児童委員	%	2.1	3.2	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	1.3
県の窓口（児童相談所、総合療育相談センターなど）	%	1.6	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	7.1	10.1
市社会福祉協議会	%	2.1	0.9	6.3	4.8	0.0	0.0	0.0	1.3
福祉サービス事業所等の職員	%	14.1	7.0	17.2	18.5	55.6	24.0	7.1	24.1
友人・知人	%	29.7	32.2	20.3	27.4	27.8	20.0	57.1	29.1
病院（医師、看護師、ケースワーカーなど）	%	32.3	29.9	15.6	48.4	22.2	36.0	35.7	31.6
学校の先生	%	7.9	0.0	3.1	0.0	27.8	0.0	0.0	58.2
その他	%	10.2	8.4	14.1	9.7	11.1	12.0	0.0	16.5
誰もいない	%	20.9	24.3	28.1	20.2	11.1	20.0	7.1	6.3
無回答	%	7.9	9.3	15.6	2.4	11.1	20.0	7.1	0.0

(4) 最も相談しやすい窓口 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 16

障がい児 問 16

○全体では、「専門的な人に相談できる」(33.9%)と回答した割合が最も高く、「直接会って相談できる」(28.1%)と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がい、強度行動障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、障がい児では「専門的な人に相談できる」、知的障がいでは「24時間相談できる」、精神障がい、難病では「直接会って相談できる」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
24時間相談できる	%	11.8	8.1	48.4	11.3	0.0	8.0	7.1	3.8
同性の職員に相談できる	%	2.2	1.7	1.6	4.0	0.0	0.0	0.0	3.8
リモートで相談できる	%	6.6	5.8	1.6	11.3	5.6	0.0	7.1	8.9
直接会って相談できる	%	28.1	29.3	20.3	29.0	27.8	28.0	35.7	26.6
専門的な人に相談できる	%	33.9	36.2	12.5	28.2	38.9	32.0	21.4	51.9
その他	%	4.5	4.6	3.1	2.4	16.7	16.0	7.1	1.3
無回答	%	12.9	14.2	12.5	13.7	11.1	16.0	21.4	3.8

4 障がい理解について

(1) ヘルプマークの認知度・利用状況

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病	問 17	障がい児	問 17
	問 17-1		問 17-1

①ヘルプマーク（認知度） 【単数回答】

○全体では、「はい」(57.2%)と回答した割合の方が高くなっています。

○障がい種別で見ると、いずれの障がいにおいても「はい」と回答した割合の方が高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい	発達障がい	難病
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
はい	%	57.2	51.0	43.8	62.1	77.8	60.0	64.3	81.0
いいえ	%	35.3	40.0	42.2	33.9	16.7	28.0	35.7	17.7
無回答	%	7.5	9.0	14.1	4.0	5.6	12.0	0.0	1.3

※①で「はい」と回答した方のみ

② ヘルプマーク（利用有無） 【単数回答】

○全体では、「いいえ」(71.5%)と回答した割合の方が高くなっています。

○障がい種別で見ると、いずれの障がいにおいても「いいえ」と回答した割合の方が高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい	発達障がい	難病
回答者数	件	383	176	28	77	14	15	9	64
はい	%	26.9	24.4	28.6	29.9	35.7	40.0	33.3	23.4
いいえ	%	71.5	72.7	71.4	68.8	64.3	60.0	66.7	76.6
無回答	%	1.6	2.8	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 障害者差別解消法施行以降、障がいに対する理解が進んだと思うか 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 18

障がい児 問 18

○全体では、「わからない」(54.7%)と回答した割合が最も高くなっています。「思わない」(25.1%)と回答した割合は、「思う」(16.1%)と回答した割合よりも高い傾向にあります。

○障がい種別でみると、身体障がい、知的障がい、精神障がい、難病、障がい児では「わからない」、強度行動障がい、発達障がい・高次脳機能障がいでは「思わない」と回答した割合が最も高くなっています。また、「思う」と「思わない」と回答した割合を比べた場合、いずれの障がいにおいても「思わない」が高い傾向にあります。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
思う	%	16.1	18.3	23.4	13.7	0.0	16.0	7.1	10.1
思わない	%	25.1	20.9	12.5	33.9	66.7	48.0	35.7	21.5
わからない	%	54.7	55.9	57.8	49.2	33.3	28.0	57.1	68.4
無回答	%	4.0	4.9	6.3	3.2	0.0	8.0	0.0	0.0

(3) 障がい理由に他の人と違う扱いを受けたり、嫌な思いをしたりした経験（1年以内）【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病

問 19

障がい児

問 19

○全体では、「特になし」(73.4%)と回答した割合が最も高くなっています。嫌な思いをした経験がある方の回答としては、「ジロジロ見られたり、嫌な顔をされたりした」(13.2%)が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、強度行動障がいを除くすべての障がいにおいて「特になし」と回答した割合が最も高くなっています。嫌な思いをした経験がある方の回答としては、いずれの障がいにおいても「ジロジロ見られたり、嫌な顔をされたりした」と回答した割合が高く、精神障がいでは「心無い言葉でからかわれたり、笑われたりした」も同じ割合となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次発達脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
入店・入室を断られたり、追い出されたりした	%	1.0	0.9	0.0	0.8	5.6	4.0	0.0	1.3
申込や入会を断られた	%	1.2	0.6	1.6	2.4	5.6	0.0	0.0	1.3
ジロジロ見られたり、嫌な顔をされたりした	%	13.2	4.3	29.7	10.5	61.1	36.0	21.4	22.8
心無い言葉でからかわれたり、笑われたりした	%	7.2	2.3	10.9	10.5	11.1	8.0	0.0	20.3
怒鳴られたり、暴力的な言葉を使われたりした	%	4.5	0.9	9.4	8.1	11.1	4.0	7.1	8.9
話しかけても無視をされた	%	3.6	1.4	3.1	4.8	5.6	20.0	0.0	6.3
暴力を振るわれた	%	1.2	0.9	1.6	1.6	0.0	4.0	0.0	1.3
不審者と誤解され警察に通報された	%	0.6	0.0	1.6	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	%	4.0	3.8	1.6	5.6	5.6	8.0	0.0	3.8
特になし	%	73.4	83.5	59.4	71.0	33.3	48.0	64.3	63.3
無回答	%	4.9	6.4	4.7	2.4	5.6	8.0	7.1	1.3

5 健康・医療について

(1) かかりつけ医の有無 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 20

障がい児 問 20

○全体では、「はい」(86.5%)と回答した割合の方が高くなっています。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「はい」と回答した割合の方が高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達脳機能障がい・高次障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
はい	%	86.5	88.7	60.9	89.5	94.4	92.0	92.9	88.6
いいえ	%	11.1	8.7	34.4	8.9	5.6	4.0	7.1	10.1
無回答	%	2.4	2.6	4.7	1.6	0.0	4.0	0.0	1.3

(2) 健康の維持や医療に関することで困っていること 【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 21

障がい児 問 21

○全体では、「特にない」(66.7%)と回答した割合が最も高くなっています。困っていることがある方の回答としては、「かかりつけの医師が近くにいない」(9.0%)が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「特にない」と回答した割合が最も高くなっています。困っていることがある方の回答としては、身体障がいでは「かかりつけの医師が近くにいない」、知的障がいでは「かかりつけの医師が近くにいない」、「障がいがあることで、他の病気の治療が受けにくい」、精神障がいでは「医療機関が近くにない」、強度行動障がいでは「医療機関の設備や対応が障がいに配慮されていない」、「障がいがあることで、他の病気の治療が受けにくい」、発達障がい・高次脳機能障がいでは「病気や治療の説明がよく分からない」、「障がいがあることで、他の病気の治療が受けにくい」、難病、障がい児では「障がいがあることで、他の病気の治療が受けにくい」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
医療機関が近くにない	%	8.4	5.2	3.1	21.0	5.6	0.0	7.1	10.1
かかりつけの医師が近くにいない	%	9.0	5.5	9.4	18.5	16.7	12.0	7.1	6.3
医療機関の設備や対応が障がいに配慮されていない	%	4.3	2.9	1.6	5.6	27.8	4.0	0.0	6.3
専門の医師がいない	%	4.3	1.2	7.8	4.8	5.6	12.0	7.1	11.4
病気や治療の説明がよく分からない	%	5.8	3.8	7.8	7.3	5.6	24.0	14.3	3.8
障がいがあることで、他の病気の治療が受けにくい	%	8.7	4.1	9.4	10.5	27.8	24.0	21.4	13.9
特にない	%	66.7	74.2	75.0	58.1	27.8	36.0	42.9	63.3
その他	%	3.6	2.6	1.6	3.2	11.1	8.0	14.3	5.1
無回答	%	6.1	7.2	6.3	4.8	11.1	8.0	0.0	2.5

(3) 医療的ケア等の必要の有無 【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 22

障がい児

問 22

○全体では、「医療的ケアは必要ない」(65.2%)と回答した割合が最も高くなっています。医療的ケア等が必要な方の回答としては、「血液透析」(4.8%)が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「医療的ケアは必要ない」と回答した割合が最も高くなっています。医療的ケア等が必要な方の回答としては、身体障がいでは「血液透析」、知的障がいでは「吸引」、「経管栄養(経鼻、胃ろう、腸ろう)」、精神障がいでは「経管栄養(経鼻、胃ろう、腸ろう)」、「血液透析」、難病では「血糖値測定とその後の処置(インスリン投与等)」、障がい児では「吸入・ネブライザー」、「血糖値測定とその後の処置(インスリン投与等)」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
医療的ケアは必要ない	%	65.2	58.0	59.4	73.4	72.2	68.0	57.1	87.3
吸引	%	1.8	2.3	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
吸入・ネブライザー	%	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5
経管栄養(経鼻、胃ろう、腸ろう)	%	1.6	1.7	4.7	0.8	0.0	0.0	0.0	1.3
中心静脈栄養	%	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
定期導尿	%	0.7	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
在宅酸素療法	%	0.6	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
咽頭エアウェイ	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
気管切開部の管理(バンド交換等)	%	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
人工呼吸器の管理	%	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
腹膜透析	%	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
血液透析	%	4.8	8.7	0.0	0.8	0.0	0.0	7.1	0.0
膀胱ろう	%	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人工肛門	%	1.2	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
血糖値測定とその後の処置(インスリン投与等)	%	1.3	1.2	0.0	0.8	0.0	0.0	14.3	2.5
その他	%	5.1	4.6	3.1	6.5	11.1	8.0	14.3	2.5
無回答	%	19.6	21.2	31.3	17.7	16.7	24.0	21.4	5.1

6 日常生活について

(1) 現在生活するうえで、家族からのサポートを受けているか 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 23

障がい児 問 23

○全体では、「はい」(66.2%)と回答した割合の方が高くなっています。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「はい」と回答した割合の方が高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
はい	%	66.2	58.0	59.4	69.4	100.0	76.0	57.1	93.7
いいえ	%	30.6	38.3	34.4	29.0	0.0	16.0	42.9	6.3
無回答	%	3.1	3.8	6.3	1.6	0.0	8.0	0.0	0.0

(2) 希望する将来の暮らし方

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病	問 24	障がい児	問 24
	問 24-1	障がい児	問 24-1

① 希望する将来の暮らし方 【単数回答】

○全体では、「自宅で家族と暮らしたい」（54.6%）と回答した割合が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「自宅で家族と暮らしたい」と回答した割合が最も高くなっています。次に割合が高い回答としては、身体障がい、精神障がい、難病、障がい児では「一人暮らしをしたい」、知的障がいでは「一人暮らしをしたい」、「グループホーム（一軒家の中にあるそれぞれの部屋に住み、風呂・トイレを共同利用する共同生活タイプ）で暮らしたい」、強度行動障がいでは「グループホーム（一軒家の中にあるそれぞれの部屋に住み、風呂・トイレを共同利用する共同生活タイプ）で暮らしたい」、発達障がい・高次脳機能障がいでは「一人暮らしをしたい」、「グループホーム（アパートの1室に住む一人暮らしタイプ）で暮らしたい」となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
一人暮らしをしたい	%	16.1	13.0	12.5	28.2	0.0	12.0	28.6	16.5
グループホーム（一軒家の中にあるそれぞれの部屋に住み、風呂・トイレを共同利用する共同生活タイプ）で暮らしたい	%	3.4	1.4	12.5	3.2	22.2	0.0	0.0	2.5
グループホーム（マンションの1室の中にあるそれぞれの部屋に住み、風呂・トイレを共同利用する共同生活タイプ）で暮らしたい	%	2.1	1.7	4.7	2.4	5.6	0.0	7.1	0.0
グループホーム（アパートの1室に住む一人暮らしタイプ）で暮らしたい	%	4.9	3.8	6.3	6.5	5.6	12.0	7.1	3.8
自宅で家族と暮らしたい	%	54.6	61.2	45.3	41.9	33.3	56.0	42.9	59.5
施設で暮らしたい（現在の施設で暮らし続けたい）	%	4.8	5.5	7.8	3.2	16.7	0.0	0.0	1.3
その他	%	5.2	2.9	1.6	7.3	11.1	4.0	7.1	13.9
無回答	%	8.8	10.4	9.4	7.3	5.6	16.0	7.1	2.5

※①で「一人暮らし」・「グループホームで暮らしたい」と回答した方のみ

② どのような支援・サポートが必要か 【複数（3つまで）回答】

○全体では、「生活費の支援があること」（41.6%）と回答した割合が最も高く、「必要な福祉サービスを受給できること」（36.0%）と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がいでは「必要な福祉サービスを受給できること」、知的障がいでは「身近な相談相手がいること」、精神障がいでは「生活費の支援があること」、強度行動障がいでは「世話をしてくれる家族や支援者（ホームヘルパーなど）がいること」、発達障がい・高次脳機能障がいでは「働く場があること」、「生活費の支援があること」、難病では「働く場があること」、「生活費の支援があること」、「必要な福祉サービスを受給できること」、障がい児では「働く場があること」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	178	69	23	50	6	6	6	18
地域住民の理解があること	%	18.0	14.5	26.1	24.0	16.7	0.0	16.7	11.1
働く場があること	%	34.3	17.4	39.1	38.0	0.0	66.7	50.0	77.8
生活費の支援があること	%	41.6	36.2	13.0	58.0	50.0	66.7	50.0	38.9
住居の支援があること	%	27.5	26.1	21.7	36.0	50.0	33.3	16.7	11.1
身近な相談相手がいること	%	34.3	23.2	56.5	36.0	33.3	50.0	33.3	38.9
世話をしてくれる家族や支援者（ホームヘルパーなど）がいること	%	32.0	33.3	34.8	20.0	100.0	16.7	33.3	38.9
必要な福祉サービスを受給できること	%	36.0	43.5	34.8	24.0	83.3	33.3	50.0	22.2
いつでも利用できる居場所があること	%	24.7	23.2	26.1	28.0	33.3	33.3	16.7	16.7
その他	%	3.9	4.3	4.3	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	%	10.1	11.6	4.3	16.0	0.0	0.0	0.0	5.6

(3) 日中活動系サービス事業所終了後、夕方の過ごし方 (【障がい児調査票】学校等終了後、夕方の過ごし方) 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 25 障がい児 問 25

○全体では、「家で過ごしている（自分で過ごすことができる）」(43.9%)と回答した割合が最も高く、「日中活動系サービス事業所を利用していない」(24.2%)と続きます。

○障がい種別でみると、障がい児を除くすべての障がいでは「家で過ごしている（自分で過ごすことができる）」、障がい児では「放課後等デイサービスを利用している」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
日中一時支援を利用している	%	3.9	3.5	1.6	2.4	22.2	20.0	0.0	1.3
放課後等デイサービスを利用している	%	5.8							49.4
家で過ごしている（日中一時支援を使いたいが使えない）	%	3.0	2.0	1.6	6.5	16.7	0.0	0.0	1.3
家で過ごしている（放課後等デイサービスを使いたいが使えない）	%	0.3							2.5
家で過ごしている（自分で過ごすことができる）	%	43.9	46.4	51.6	45.2	33.3	44.0	35.7	29.1
その他	%	6.3	4.6	10.9	3.2	5.6	8.0	7.1	13.9
日中活動系サービス事業所を利用していない	%	24.2	28.1	14.1	35.5	16.7	20.0	28.6	
無回答	%	12.6	15.4	20.3	7.3	5.6	8.0	28.6	2.5

(4)「自分が今後こうしたい、こうなりたい」という思いを伝えることができるか（支援者のサポートを受けながらを含む） 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 26 障がい児 問 26

○全体では、「できる」(61.6%)と回答した割合が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、難病、障がい児では「できる」、知的障がいでは「できる」、「わからない」、強度行動障がいでは「できない」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
できる	%	61.6	76.5	35.9	58.9	0.0	52.0	57.1	39.2
できない	%	12.1	3.5	23.4	10.5	72.2	24.0	14.3	25.3
わからない	%	22.1	15.4	35.9	27.4	22.2	16.0	21.4	34.2
無回答	%	4.2	4.6	4.7	3.2	5.6	8.0	7.1	1.3

7 働くことについて

(1) (1) 昼間の時間に過ごしている場所 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病	問 27	障がい児	-
	問 27-1		
	問 27-2		

① 昼間の時間に過ごしている場所 【単数回答】

○全体では、「働けない、働いていない」(40.8%)と回答した割合が最も高く、「企業等で正社員として働いている(就労定着支援を含む)」(11.2%)と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい、難病では「働けない、働いていない」、知的障がい、強度行動障がい、発達障がい・高次脳機能障がいでは「障がい福祉サービス事業所で働いている・過ごしている」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別					
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病
回答者数	件	590	345	64	124	18	25	14
企業等で正社員として働いている(就労定着支援を含む)	%	11.2	12.2	21.9	5.6	0.0	12.0	0.0
アルバイト・パートで働いている(就労定着支援を含む)	%	10.5	7.5	15.6	16.9	0.0	12.0	14.3
障がい福祉サービス事業所で働いている・過ごしている	%	10.5	2.3	35.9	10.5	44.4	28.0	21.4
学校に通っている	%	1.4	0.9	0.0	0.0	27.8	0.0	0.0
入所施設、病院で暮らしている	%	4.4	3.2	4.7	8.1	5.6	4.0	0.0
その他	%	8.8	10.7	3.1	5.6	0.0	12.0	21.4
働けない、働いていない	%	40.8	45.2	15.6	49.2	16.7	24.0	35.7
無回答	%	12.4	18.0	3.1	4.0	5.6	8.0	7.1

※①でいずれかの「働いている」、もしくは「学校に通っている」、「入所施設、病院で暮らしている」、「その他」を回答した方のみ

② どのような支援・サポートが必要か 【複数回答】

○全体では、「自分にあつた仕事の分担」(39.5%)と回答した割合が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、身体障がい、知的障がい、難病では「自分にあつた仕事の分担」、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がいでは「相談できる人がいる」、強度行動障がいでは「自分にあつた仕事の分担」、「通勤するための移動支援」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別					
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病
回答者数	件	276	127	52	58	14	17	8
スケジュール管理	%	16.3	6.3	25.0	24.1	21.4	41.2	0.0
マニュアルがある	%	16.3	7.1	7.7	34.5	21.4	41.2	25.0
ジョブコーチがいる	%	10.5	3.9	15.4	13.8	14.3	23.5	25.0
相談できる人がいる	%	35.1	18.1	36.5	62.1	28.6	70.6	37.5
バリアフリーである	%	8.3	8.7	3.8	6.9	7.1	23.5	12.5
自分にあつた仕事の分担	%	39.5	23.6	57.7	46.6	64.3	52.9	50.0
通勤や働く時間などの配慮	%	29.3	22.0	23.1	37.9	57.1	52.9	25.0
通勤するための移動支援	%	16.7	12.6	15.4	12.1	64.3	23.5	25.0
その他	%	9.1	11.8	1.9	8.6	21.4	5.9	0.0
無回答	%	21.7	29.9	17.3	10.3	0.0	23.5	37.5

※①「働けない、働いていない」を回答した方のみ

③ 働けない、働いていない理由 【複数回答】

○全体では、「働かなくても生活できるから」(31.1%)と回答した割合が最も高く、「身体障がいにより働くことが困難なため」(29.5%)と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がいでは「働かなくても生活できるから」、知的障がい、発達障がい・高次脳機能障がいでは「精神的に働ける状態ではないため」、「身体障がいにより働くことが困難なため」、「働かなくても生活できるから」、精神障がいでは「精神的に働ける状態ではないため」、強度行動障がい、難病では「身体障がいにより働くことが困難なため」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別					
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病
回答者数	件	241	156	10	61	3	6	5
精神的に働ける状態ではないため	%	23.7	2.6	20.0	77.0	33.3	33.3	20.0
身体障がいにより働くことが困難なため	%	29.5	34.6	20.0	13.1	66.7	33.3	60.0
対人関係に不安があるから	%	13.7	1.9	10.0	47.5	0.0	0.0	0.0
働かなくても生活できるから	%	31.1	37.2	20.0	19.7	0.0	33.3	20.0
その他	%	18.7	23.1	10.0	8.2	66.7	0.0	20.0
無回答	%	11.2	14.1	30.0	1.6	0.0	16.7	0.0

8 就学・就労について

(1) 障がい児の就学・就労について

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病	-	障がい児	問 27
			問 27-1
			問 27-2
			問 27-3

① 通学・通所している場所 【複数回答】

○全体では、「児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所」(41.8%)と回答した割合が最も高く、「小学校(特別支援学級)」(34.2%)と続きます。

○年齢別でみると、10歳未満では「児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所」(49.0%)と回答した割合が最も高く、「小学校(特別支援学級)」(33.3%)と続きます。10歳代では「小学校(特別支援学級)」(35.7%)が最も高く、「児童発達支援事業所、放課後等デイサービス事業所」(28.6%)と続きます。

	単位	全体	年齢	
			10歳未満	10歳代
回答者数	件	79	51	28
児童発達支援、放課後等デイサービス事業所	%	41.8	49.0	28.6
幼稚園・保育園・認定こども園	%	20.3	31.4	0.0
小学校(通常学級)	%	19.0	23.5	10.7
小学校(特別支援学級)	%	34.2	33.3	35.7
盲・ろう・支援学校小学部	%	2.5	2.0	3.6
中学校(通常学級)	%	0.0	0.0	0.0
中学校(特別支援学級)	%	7.6	0.0	21.4
盲・ろう・支援学校中学部	%	3.8	0.0	10.7
高等学校	%	2.5	0.0	7.1
盲・ろう・支援学校高等部	%	3.8	0.0	10.7
その他の学校・施設	%	1.3	0.0	3.6
働いている	%	0.0	0.0	0.0
通学(通園)・通勤していない	%	1.3	2.0	0.0
無回答	%	0.0	0.0	0.0

※①で「働いている」「通学（通園）・働いていない」以外を回答した方のみ

② 入学にあたって困ったこと 【複数回答】

○全体では、「特になし」（44.9%）と回答した割合が最も高くなっています。困ったことがあった方の回答としては、「学校についての情報が少なかった」（19.2%）と回答した割合が最も高くなっています。

○年齢別でみると、いずれの年齢層でも「特になし」と回答した割合が最も高くなっています。困ったことがあった方の回答としては、10歳未満では「学校についての情報が少なかった」（24.0%）、10歳代では「通学の方法について不安があった」（14.3%）と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	年齢	
			10歳未満	10歳代
回答者数	件	78	50	28
どこに相談すればよいかわからなかった	%	11.5	16.0	3.6
障がいのない同級生の様子がわからなかった	%	11.5	12.0	10.7
学校についての情報が少なかった	%	19.2	24.0	10.7
保護者の希望と就学相談における判断が合わなかった	%	7.7	10.0	3.6
通学の方法について不安があった	%	14.1	14.0	14.3
その他	%	11.5	16.0	3.6
特になし	%	44.9	34.0	64.3
無回答	%	6.4	6.0	7.1

※①で「働いている」「通学（通園）・働いていない」以外を回答した方のみ

③ 入学決定にあたって重視したこと 【複数（3つまで）回答】

○全体では、「通学しやすいこと」（57.7%）と回答した割合が最も高くなっています。

○年齢別でみると、「10歳未満」では「通学しやすいこと」（54.0%）、「地域の学校で同年代の子どもと過ごせること」（48.0%）、10歳代では「子どもの障がいや発達に応じた専門的な療育が受けられること」、「通学しやすいこと」（64.3%）と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	年齢	
			10歳未満	10歳代
回答者数	件	78	50	28
地域の学校で同年代の子どもと過ごせること	%	43.6	48.0	35.7
子どもの障がいや発達に応じた専門的な療育が受けられること	%	50.0	42.0	64.3
十分な施設・設備が整っていること	%	21.8	22.0	21.4
教員の人数がそろっていること	%	30.8	30.0	32.1
通学しやすいこと	%	57.7	54.0	64.3
その他	%	7.7	8.0	7.1
無回答	%	3.8	4.0	3.6

④ 学校生活のなかで困っていること 【複数回答】

○全体では、「特に問題はない」(50.0%)と回答した割合が最も高くなっています。困っていることがある方の回答としては、「家族の負担が大きい」(19.2%)が最も高くなっています。

○年齢別でみると、いずれの年齢層においても「特に問題はない」と回答した割合が最も高くなっています。困っていることがある方の回答としては、10歳未満では「家族の負担が大きい」(20.0%)、「10歳代」では「授業が難しい」(21.4%)と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	年齢	
			10歳未満	10歳代
回答者数	件	78	50	28
通学・通所の支援が不十分	%	14.1	12.0	17.9
授業が難しい	%	15.4	12.0	21.4
設備が使いづらい	%	1.3	2.0	0.0
介助が不十分	%	2.6	2.0	3.6
周囲の理解が得にくい	%	16.7	18.0	14.3
友だちができない	%	17.9	18.0	17.9
家族の負担が大きい	%	19.2	20.0	17.9
その他	%	5.1	8.0	0.0
特に問題はない	%	50.0	52.0	46.4
無回答	%	2.6	2.0	3.6

(2) 将来の生活について不安なこと 【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病

—

障がい児

問 28

○全体では、「親元を離れて自立できるか不安」(57.0%)と回答した割合が最も高く、「就職・進学できるか不安」(54.4%)、なっています。

○年齢別でみると、10歳未満では「親元を離れて自立できるか不安」(62.7%)、10歳代では「就職・進学できるか不安」(50.0%)と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	年齢	
			10歳未満	10歳代
回答者数	件	79	51	28
経済的自立ができるか不安	%	48.1	49.0	46.4
就職・進学できるか不安	%	54.4	56.9	50.0
働いても長続きするか不安	%	31.6	31.4	32.1
親元を離れて自立できるか不安	%	57.0	62.7	46.4
不安はない	%	15.2	19.6	7.1
その他	%	7.6	7.8	7.1
無回答	%	5.1	3.9	7.1

9 趣味や外出について

(1) 趣味や楽しみ 【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 28

障がい児

問 29

○全体では、「テレビ」(47.7%)と回答した割合が最も高く、「音楽」(43.6%)、「動画視聴(YouTube等)」(34.5%)と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がいでは「テレビ」、知的障がい、精神障がい、強度行動障がい、難病では「音楽」、発達障がい・高次脳機能障がいでは「音楽」、「動画視聴(YouTube等)」、障がい児では「動画視聴(YouTube等)」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
音楽	%	43.6	37.4	56.3	54.0	55.6	68.0	57.1	31.6
ゲーム	%	22.0	9.3	37.5	25.8	22.2	24.0	21.4	58.2
読書	%	23.6	23.5	15.6	31.5	0.0	36.0	42.9	16.5
スポーツ	%	13.6	15.1	9.4	14.5	0.0	20.0	14.3	10.1
旅行	%	19.3	22.3	17.2	12.9	27.8	36.0	14.3	11.4
電車	%	5.7	2.3	12.5	3.2	11.1	24.0	0.0	12.7
パソコン	%	12.1	11.3	9.4	15.3	0.0	40.0	14.3	6.3
料理	%	14.2	14.5	6.3	20.2	0.0	28.0	21.4	7.6
手芸・裁縫	%	7.2	8.4	1.6	11.3	0.0	8.0	7.1	1.3
テレビ	%	47.7	53.0	45.3	44.4	50.0	36.0	50.0	34.2
動画視聴(YouTube等)	%	34.5	17.1	50.0	43.5	44.4	68.0	50.0	68.4
SNS	%	10.3	7.2	14.1	20.2	0.0	16.0	28.6	2.5
園芸・ガーデニング	%	11.2	17.4	0.0	6.5	0.0	8.0	21.4	2.5
その他	%	14.2	12.5	12.5	13.7	11.1	24.0	7.1	22.8
無回答	%	4.3	6.4	4.7	0.8	5.6	0.0	7.1	1.3

(2) 普段の外出について

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病	問 29	障がい児	問 30
	問 29-1		問 30-1

① 普段の外出の頻度 【単数回答】

○全体では、「ほぼ毎日」(38.3%)と回答した割合が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「ほぼ毎日」と回答した割合が高くなっています。また、難病では、他の障がいと比べて「ほとんど外出しない」(14.3%)が高い割合となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい	発達障がい	難病
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
ほぼ毎日	%	38.3	29.3	57.8	30.6	44.4	60.0	35.7	65.8
週に3～4回	%	23.5	26.7	15.6	26.6	11.1	20.0	28.6	13.9
週に1～2回	%	18.4	20.6	6.3	21.8	22.2	16.0	14.3	13.9
月に1～3回	%	7.8	7.8	7.8	9.7	11.1	4.0	7.1	5.1
年に数回	%	2.1	2.9	3.1	0.8	5.6	0.0	0.0	0.0
ほとんど外出しない	%	6.1	7.2	4.7	8.1	5.6	0.0	14.3	0.0
無回答	%	3.9	5.5	4.7	2.4	0.0	0.0	0.0	1.3

※①で「年に数回」「ほとんど外出しない」を回答した方のみ

② 外出しない理由 【複数（3つまで）回答】

○全体では、「外出が一人ではできないため」（69.1%）と回答した割合が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、身体障がい、強度行動障がいでは「外出が一人ではできないため」、知的障がいでは「発作などがあり自分の心身の変化が不安なため」、「人とのコミュニケーションに不安があるため」、「外出が一人ではできないため」、精神障がいでは「体調が悪いため」、難病では「外出が一人ではできないため」、「体調が悪いため」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障害 高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	55	35	5	11	2	—	2	—
路上に障害物や階段・段差が多いため	%	9.1	14.3	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
外出先の建物の設備に不安があるため	%	3.6	2.9	0.0	0.0	50.0	—	0.0	—
発作などがあり自分の心身の変化が不安なため	%	16.4	2.9	60.0	36.4	50.0	—	0.0	—
車などの移動手段がないため	%	5.5	8.6	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—
バスやタクシーなど移動費用がかかるため	%	12.7	11.4	20.0	18.2	0.0	—	0.0	—
人とのコミュニケーションに不安があるため	%	10.9	0.0	60.0	27.3	0.0	—	0.0	—
新型コロナウイルス感染症などの感染リスクが不安なため	%	3.6	2.9	0.0	0.0	50.0	—	0.0	—
外出が一人ではできないため	%	69.1	77.1	60.0	45.5	100.0	—	50.0	—
体調が悪いため	%	27.3	22.9	0.0	54.5	0.0	—	50.0	—
その他	%	14.5	17.1	0.0	9.1	50.0	—	0.0	—
無回答	%	1.8	2.9	0.0	0.0	0.0	—	0.0	—

(3) どのような趣味や楽しみで外出したいか 【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病

問 30

障がい児

問 31

○全体では、「美味しいものを食べたい」(57.5%)と回答した割合が最も高く、「旅行に行きたい」(42.3%)と続きます。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「美味しいものを食べたい」と回答した割合が最も高くなっています。次に回答した割合が高いものとしては、身体障がい、知的障がい、精神障がい、強度行動障がい、発達障がい・高次脳機能障がいでは「旅行に行きたい」、難病、障がい児では「友人・知人に会いたい」となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
ライブ・スポーツ等を観に行きたい	%	19.1	19.7	14.1	25.8	11.1	32.0	28.6	6.3
スポーツをしたい	%	13.9	12.8	10.9	16.1	11.1	16.0	21.4	16.5
旅行に行きたい	%	42.3	45.2	32.8	37.9	44.4	60.0	64.3	34.2
勉強がしたい	%	9.7	8.4	3.1	18.5	0.0	20.0	14.3	5.1
趣味のコミュニティに参加したい	%	15.2	15.4	6.3	20.2	0.0	20.0	21.4	15.2
友人・知人に会いたい	%	34.8	35.7	21.9	34.7	16.7	44.0	71.4	36.7
美味しいものを食べたい	%	57.5	55.9	46.9	63.7	77.8	68.0	85.7	50.6
その他	%	13.0	9.9	23.4	12.1	16.7	20.0	0.0	19.0
無回答	%	8.5	11.3	6.3	6.5	5.6	4.0	7.1	3.8

10 障がいの認知・進路選択について

(1) 障がいに気付いた時期 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 31

障がい児

問 32

○全体では、「40～64歳」（23.2%）と回答した割合が最も高く、「18～39歳」（17.8%）と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がい、難病では「40～64歳」、知的障がい、強度行動障がい、障がい児では「0～2歳」、精神障がいでは「18～39歳」、発達障がい・高次脳機能障がいでは「18～39歳」、「40～64歳」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
出生前	%	1.0	0.6	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	3.8
0～2歳	%	14.9	5.8	28.1	0.8	83.3	12.0	7.1	53.2
3～4歳	%	7.2	2.9	14.1	0.0	11.1	8.0	0.0	31.6
5～6歳	%	1.2	0.6	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8
小学生のとき	%	5.7	4.1	17.2	4.8	0.0	8.0	0.0	6.3
中学生のとき	%	4.2	1.4	15.6	8.9	0.0	4.0	0.0	1.3
高校生または高校生年代のとき	%	2.5	0.6	4.7	8.9	5.6	0.0	0.0	0.0
18～39歳	%	17.8	12.8	6.3	48.4	0.0	28.0	28.6	
40～64歳	%	23.2	32.8	1.6	21.8	0.0	28.0	50.0	
65歳以上	%	17.0	31.3	0.0	3.2	0.0	0.0	14.3	
無回答	%	5.2	7.2	6.3	2.4	0.0	12.0	0.0	0.0

(2) 障がいについて、最初にどこに相談したか 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 32

障がい児

問 33

○全体では、「病院」(57.7%)と回答した割合が最も高く、「家族・親戚」(18.1%)と続きます。

○障がい種別でみると、障がい児を除くすべての障がいでは「病院」、障がい児では「こどもセンター」と回答した割合が最も高くなっています。次に回答した割合が高いものとしては、身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、難病では「家族・親戚」、強度行動障がいでは「家族・親戚」、「子育て支援センター」、障がい児では「子育て支援センター」となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
家族・親戚	%	18.1	18.0	23.4	23.4	11.1	8.0	14.3	11.4
知人・友人	%	1.5	0.9	1.6	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0
子育て支援センター	%	4.2	0.6	9.4	0.0	11.1	4.0	0.0	21.5
こどもセンター	%	3.9	0.0	4.7	0.0	5.6	4.0	0.0	26.6
保育所・幼稚園	%	0.7	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1
小学校	%	0.7	0.0	1.6	2.4	0.0	0.0	0.0	1.3
中学校	%	0.3	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高校	%	0.1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
病院	%	57.7	68.7	39.1	55.6	55.6	72.0	78.6	20.3
インターネットを通じて知り合った人	%	0.3	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	1.3
相談サイトや掲示板	%	0.1	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	%	4.3	1.7	4.7	6.5	16.7	4.0	0.0	10.1
無回答	%	7.9	9.9	10.9	5.6	0.0	8.0	7.1	2.5

(3) 障がいのある子を育てる中で難しさ 【複数（3つまで）回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病

－

障がい児

問 34

○全体では、「コミュニケーション」(73.4%)と回答した割合が最も高く、「社会性（マナーや協調性など）」(64.6%)と続きます。

○年齢別でみると、10歳未満では「コミュニケーション」(76.5%)と回答した割合が最も高く、「社会性（マナーや協調性など）」(72.5%)と続きます。10歳代では「コミュニケーション」(67.9%)が最も高く、「社会性（マナーや協調性など）」(50.0%)と続きます。

	単 位	全 体	年 齢	
			10歳未満	10歳代
回答者数	件	79	51	28
社会性（マナーや協調性など）	%	64.6	72.5	50.0
コミュニケーション	%	73.4	76.5	67.9
危険認識	%	44.3	47.1	39.3
食育	%	17.7	15.7	21.4
金銭管理	%	8.9	3.9	17.9
時間管理	%	21.5	21.6	21.4
読み書き	%	21.5	23.5	17.9
性に関すること	%	8.9	5.9	14.3
周囲の理解	%	32.9	35.3	28.6
その他	%	3.8	3.9	3.6
感じたことはない	%	3.8	5.9	0.0
無回答	%	0.0	0.0	0.0

(4) 放課後等デイサービスについて

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病

-

障がい児

問 35

問 35-1

① 放課後等デイサービスの利用有無 【単数回答】

○全体では、「ある」(69.6%)と回答した割合の方が高くなっています。

○年齢別でみると、「ある」と回答した割合は、10歳未満では54.9%、10歳代では96.4%となっています。

	単位	全体	年齢	
			10歳未満	10歳代
回答者数	件	79	51	28
ある	%	69.6	54.9	96.4
ない	%	27.8	43.1	0.0
無回答	%	2.5	2.0	3.6

※①で「ある」を回答した方のみ

② 放課後等デイサービスに期待すること 【複数回答】

○全体では、「コミュニケーション能力の向上」(60.0%)と回答した割合が最も高く、「社会性を身につけてほしい」(47.3%)と続きます。

○年齢別でみると、10歳未満、10歳代ともに「コミュニケーション能力の向上」と回答した割合が最も高く、「社会性を身につけてほしい」と続きます。

	単位	全体	年齢	
			10歳未満	10歳代
回答者数	件	55	28	27
学校の勉強をみてほしい	%	9.1	7.1	11.1
コミュニケーション能力の向上	%	60.0	64.3	55.6
レスパイトケア(介助者の休息への支援)	%	21.8	10.7	33.3
学童保育の代わり	%	23.6	28.6	18.5
運動能力の向上	%	21.8	21.4	22.2
社会性を身につけてほしい	%	47.3	50.0	44.4
その他	%	7.3	7.1	7.4
無回答	%	0.0	0.0	0.0

(5) 18歳になるまでの就学等について 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病	問 33	障がい児	—
	問 33-1		

① 18歳になるまで昼間過ごしていた主な場所 【単数回答】

○全体では、「高校」(61.0%)と回答した割合が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、難病では「高校」、知的障がい、強度行動障がいでは「特別支援学校(盲学校、聾学校、支援学校等)」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別					
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達脳機能障がい	難病
回答者数	件	590	345	64	124	18	25	14
高校	%	61.0	65.8	15.6	75.0	0.0	76.0	78.6
高校(通信制)	%	1.9	0.6	3.1	4.0	0.0	8.0	0.0
高校(インクルーシブ)	%	0.7	0.6	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
高校(定時制)	%	2.4	2.0	1.6	2.4	5.6	4.0	7.1
特別支援学校(盲学校、聾学校、支援学校等)	%	10.7	2.9	53.1	0.0	83.3	12.0	7.1
フリースクール	%	0.2	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
その他	%	4.9	5.5	6.3	4.0	0.0	0.0	7.1
自宅	%	8.3	8.4	9.4	11.3	0.0	0.0	0.0
無回答	%	10.0	14.2	7.8	2.4	11.1	0.0	0.0

※①で「自宅」以外を回答した方のみ

② 通学・通所的手段 【複数回答】

○全体では、「ひとりで自力（公共交通機関、徒歩、車いす）」（77.4%）と回答した割合が高くなっています。

○障がい種別でみると、強度行動障がいを除くすべての障がいでは「ひとりで自力（公共交通機関、徒歩、車いす）」、強度行動障がいでは「学校等の送迎」と回答した割合が最も高くなっています。また、強度行動障がいでは、他の障がいと比べて「家族の送迎」（62.5%）が高い割合となっています。

	単位	全体	障がい種別					
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい	難病
回答者数	件	482	267	53	107	16	25	14
ひとりで自力（公共交通機関、徒歩、車いす）	%	77.4	82.8	66.0	81.3	12.5	60.0	92.9
家族・友人等と自力（公共交通機関、徒歩、車いす）	%	4.8	1.9	9.4	9.3	0.0	8.0	7.1
家族の送迎	%	8.1	3.4	20.8	2.8	62.5	20.0	7.1
学校等の送迎	%	4.8	0.4	11.3	0.9	75.0	8.0	7.1
ボランティアによる送迎	%	0.4	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	%	2.9	3.7	0.0	2.8	6.3	0.0	0.0
無回答	%	10.2	11.2	7.5	9.3	0.0	20.0	0.0

(6) 18歳になって最初の進路 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病

問 34

障がい児

—

○全体では、「進学」(38.5%)と回答した割合が最も高く、「就労(パート・アルバイトを含む)」(28.3%)と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、難病では「進学」、知的障がいでは「就労系の障がい福祉サービス事業所(就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型)」、強度行動障がいでは「その他の障がい福祉サービス事業所等(生活介護、自立訓練、地域活動支援センター等)」と回答した割合が最も高くなっています。また、身体障がい、精神障がい、難病においては「就労(パート・アルバイトを含む)」が、次に割合の高い回答となっています。

	単位	全体	障がい種別					
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病
回答者数	件	590	345	64	124	18	25	14
進学	%	38.5	38.0	17.2	50.0	0.0	60.0	57.1
就労(パート・アルバイトを含む)	%	28.3	33.3	18.8	29.0	0.0	0.0	28.6
就労系の障がい福祉サービス事業所(就労移行支援、就労継続支援A型、就労継続支援B型)	%	3.1	0.3	23.4	0.8	0.0	4.0	0.0
その他の障がい福祉サービス事業所等(生活介護、自立訓練、地域活動支援センター等)	%	7.1	1.7	21.9	1.6	77.8	20.0	7.1
その他	%	9.0	8.1	7.8	13.7	11.1	0.0	7.1
無回答	%	14.1	18.6	10.9	4.8	11.1	16.0	0.0

(7) 進路についての相談先 【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 35

障がい児

—

○全体では、「家族・親戚」(59.2%)と回答した割合が最も高く、「学校」(21.7%)と続きます。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「家族・親戚」と回答した割合が最も高くなっています。次に割合の高い回答としては、身体障がいでは「特に相談した人はいない」、身体障がいを除くすべての障がいでは「学校」となっています。

	単位	全体	障がい種別					
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病
回答者数	件	590	345	64	124	18	25	14
家族・親戚	%	59.2	52.8	78.1	67.7	61.1	48.0	71.4
知人・友人	%	8.5	6.7	14.1	11.3	5.6	4.0	14.3
学校	%	21.7	16.2	21.9	28.2	55.6	36.0	28.6
病院	%	3.2	1.2	4.7	7.3	5.6	8.0	0.0
障害福祉サービス事業所	%	1.7	1.2	3.1	0.8	16.7	0.0	0.0
相談支援事業所	%	2.5	0.9	10.9	1.6	5.6	4.0	7.1
インターネットを通じて知り合った人	%	0.2	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0
相談サイトや掲示板	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	%	2.9	2.3	4.7	2.4	11.1	4.0	0.0
特に相談した人はいない	%	20.2	24.3	1.6	21.8	0.0	16.0	21.4
無回答	%	10.5	15.1	7.8	1.6	5.6	8.0	0.0

(8) 進路選択と必要なサポートについて 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病	問 36	障がい児	—
	問 36-1		

① 希望通りの進路へ進めたか 【単数回答】

○全体では、「はい」(64.1%)と回答した割合の方が高くなっています。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「はい」と回答した割合の方が高くなっています。また、精神障がいでは、他の障がいと比べて「いいえ」(41.9%)が高い割合となっています。

	単位	全体	障がい種別					
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達脳機能障がい	難病
回答者数	件	590	345	64	124	18	25	14
はい	%	64.1	68.7	70.3	50.0	55.6	64.0	57.1
いいえ	%	18.5	10.7	10.9	41.9	22.2	20.0	28.6
無回答	%	17.5	20.6	18.8	8.1	22.2	16.0	14.3

※①で「いいえ」を回答した方のみ

② どのようなサポート等があれば、希望する進路に進めたと思うか 【複数回答】

○全体では、「進路全般に関する相談先」（41.3%）と回答した割合の方が高く、「専門的な技術を身に付ける機会の提供」（20.2%）と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がい、精神障がい、強度行動障がい、発達障がい・高次脳機能障がいでは「進路全般に関する相談先」、知的障がいでは「障がい者雇用を行う企業等の紹介」、難病では「専門的な技術を身に付ける機会の提供」、「進路全般に関する相談先」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別					
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病
回答者数	件	109	37	7	52	4	5	4
障がい者雇用を行う企業等の紹介	%	18.3	5.4	71.4	21.2	0.0	20.0	25.0
専門的な技術を身に付ける機会の提供	%	20.2	13.5	28.6	23.1	0.0	20.0	50.0
障がい者雇用に特化した相談先	%	19.3	2.7	42.9	26.9	25.0	40.0	0.0
進路全般に関する相談先	%	41.3	27.0	28.6	50.0	50.0	60.0	50.0
その他	%	22.0	27.0	14.3	19.2	50.0	20.0	0.0
無回答	%	19.3	37.8	0.0	11.5	0.0	20.0	0.0

(9) 専門的なケア・相談を受けることができるか 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 37 障がい児 -

○全体では、「受けている」(42.5%)と回答した割合が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、強度行動障がいを除くすべての障がいでは「受けている」、強度行動障がいでは「専門的ではないが受けている」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別					
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達脳機能障がい	難病
回答者数	件	590	345	64	124	18	25	14
受けている	%	42.5	39.1	35.9	58.9	16.7	40.0	50.0
専門的ではないが受けている	%	11.4	7.8	18.8	10.5	44.4	16.0	21.4
受けたいが、受けることができない(専門家がいない等)	%	12.0	8.4	17.2	18.5	22.2	16.0	0.0
受ける必要がない	%	21.7	29.3	15.6	6.5	5.6	20.0	21.4
無回答	%	12.4	15.4	12.5	5.6	11.1	8.0	7.1

11 安全・安心な暮らしについて

(1) バリアフリー化を進めてほしいと考えるもの 【複数(3つまで)回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病

問 38

障がい児

問 36

○全体では、「道路(歩道や交差点など)」(41.1%)と回答した割合が最も高く、「駅・バス停留所」(40.5%)、「電車・バス・タクシー等の乗り物」(39.8%)と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がい、障がい児では「道路(歩道や交差点など)」、知的障がいでは「電車・バス・タクシー等の乗り物」、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がいでは「駅・バス停留所」、強度行動障がいでは「各施設職員・市民の対応(心のバリアフリー)」、難病では「駅・バス停留所」、「道路(歩道や交差点など)」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい	発達障がい	難病
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
駅・バス停留所	%	40.5	41.7	32.8	44.4	44.4	44.0	64.3	29.1
電車・バス・タクシー等の乗り物	%	39.8	42.9	34.4	37.9	16.7	40.0	50.0	36.7
道路(歩道や交差点など)	%	41.1	46.7	20.3	35.5	27.8	32.0	64.3	44.3
公共施設や学校	%	16.0	13.0	7.8	16.1	27.8	8.0	14.3	35.4
スーパー、コンビニなど	%	19.7	16.8	26.6	26.6	11.1	40.0	7.1	13.9
病院	%	16.9	15.7	10.9	26.6	22.2	24.0	7.1	10.1
公園	%	6.7	4.9	0.0	8.1	11.1	0.0	0.0	20.3
駐車場	%	7.6	8.4	6.3	4.8	16.7	16.0	7.1	5.1
各施設職員・市民の対応(心のバリアフリー)	%	24.5	17.4	18.8	29.0	61.1	36.0	28.6	40.5
その他	%	3.9	4.1	4.7	4.8	0.0	4.0	0.0	2.5
無回答	%	10.9	13.6	23.4	4.8	5.6	8.0	7.1	1.3

(2) 災害時・緊急時に手助けしてくれる人 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病	問 39	障がい児	問 37
	問 39-1		問 37-1

① 災害時・緊急時に手助けしてくれる人の有無 【単数回答】

○全体では、「いる」(76.1%)と回答した割合の方が高くなっています。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「いる」と回答した割合の方が高くなっています。また、精神障がいでは、他の障がいと比べて「いる」と回答した割合が 69.4%と低くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
いる	%	76.1	73.3	75.0	69.4	94.4	80.0	71.4	94.9
いない	%	15.1	16.8	12.5	21.0	0.0	8.0	28.6	3.8
無回答	%	8.8	9.9	12.5	9.7	5.6	12.0	0.0	1.3

※①で「いる」を回答した方のみ

② 災害時・緊急時に手助けしてくれる人 【複数回答】

○全体では、「同居している家族」（79.2%）と回答した割合が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、いずれの障がいにおいても「同居している家族」と回答した割合が最も高くなっています。次に割合が高い回答としては、身体障がい、精神障がい、難病、障がい児では「離れて生活する家族・親族」、知的障がい、発達障がい・高次脳機能障がいでは「福祉サービス事業所の職員（ホームヘルパーなど）」、強度行動障がいでは「離れて生活する家族・親族」、「離れて生活する家族・親族」となっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい	発達障がい	難病
回答者数	件	509	253	48	86	17	20	10	75
同居している家族	%	79.2	77.1	75.0	73.3	100.0	80.0	70.0	92.0
離れて生活する家族・親族	%	25.0	28.9	12.5	25.6	5.9	20.0	40.0	22.7
福祉サービス事業所の職員（ホームヘルパーなど）	%	11.6	9.1	22.9	15.1	5.9	30.0	0.0	6.7
ボランティア	%	0.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
近所の人・知人・友人	%	14.7	19.0	12.5	10.5	0.0	0.0	20.0	13.3
その他	%	3.7	3.2	4.2	7.0	0.0	10.0	0.0	1.3
無回答	%	2.0	0.8	4.2	2.3	0.0	5.0	10.0	2.7

(3) 避難行動要支援者支援制度の認知度 【単数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 40

障がい児

問 38

○全体では、「知らなかった」(54.7%)と回答した割合が最も高くなっています。

○障がい種別でみると、強度行動障がいを除くすべての障がいでは「知らなかった」、強度行動障がいでは「知っている」と回答した割合が高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次発達脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
知っている	%	26.2	31.9	23.4	8.9	72.2	20.0	28.6	21.5
名前は聞いたことがあるが制度内容は知らなかった	%	13.3	15.7	4.7	16.1	5.6	20.0	14.3	5.1
知らなかった	%	54.7	44.9	67.2	69.4	22.2	52.0	57.1	72.2
無回答	%	5.8	7.5	4.7	5.6	0.0	8.0	0.0	1.3

(4) 災害時や緊急時における市（地域）の情報の取得方法 【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 41

障がい児 問 39

○全体では、「携帯電話（スマートフォン、タブレットを含む）」（57.7%）と回答した割合が最も高く、「防災無線」（50.1%）、「テレビ」（49.2%）と続きます。

○障がい種別でみると、知的障がいを除くすべての障がいでは「携帯電話（スマートフォン、タブレットを含む）」、知的障がいでは「防災無線」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次発達脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
防災無線	%	50.1	53.3	48.4	41.9	44.4	44.0	57.1	51.9
ちがさきメール配信サービス	%	23.0	23.5	20.3	16.1	38.9	16.0	42.9	29.1
テレビ	%	49.2	49.9	42.2	54.8	55.6	40.0	57.1	43.0
携帯電話（スマートフォン、タブレットを含む）	%	57.7	55.4	45.3	62.9	55.6	56.0	64.3	69.6
ラジオ	%	13.5	15.1	6.3	16.9	5.6	20.0	14.3	6.3
パソコン	%	8.5	8.1	0.0	12.1	0.0	16.0	21.4	8.9
その他	%	2.4	2.9	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	5.1
特になし	%	7.5	6.7	12.5	8.1	5.6	8.0	7.1	6.3
無回答	%	3.6	5.2	1.6	1.6	5.6	8.0	0.0	0.0

(5) 日頃から災害の備えの有無 【複数回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 42

障がい児

問 40

○全体では、備えがある方の回答としては、「非常用持ち出し袋を用意している」(38.0%)と回答した割合が最も高く、「家具に転倒防止器具をつけている」(24.7%)と続きます。一方、37.4%の方が「特に何もしていない」と回答しています。

○障がい種別でみると、身体障がい、強度行動障がい、障がい児では「非常用持ち出し袋を用意している」、知的障がい、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、難病では「特に何もしていない」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	高次脳機能障がい・発達障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
非常用持ち出し袋を用意している	%	38.0	37.7	26.6	30.6	66.7	28.0	35.7	57.0
家具に転倒防止器具をつけている	%	24.7	27.8	14.1	17.7	27.8	12.0	28.6	32.9
避難所への経路を確認している	%	20.0	22.0	18.8	18.5	22.2	8.0	21.4	17.7
家族と待ち合わせ場所などを相談している	%	18.4	15.9	17.2	16.9	33.3	8.0	7.1	34.2
地区の防災訓練に参加している	%	6.0	7.2	6.3	3.2	5.6	4.0	14.3	3.8
マイタイムライン（個別避難計画）を作成している	%	0.7	0.6	0.0	1.6	5.6	0.0	0.0	0.0
特に何もしていない	%	37.4	37.1	42.2	48.4	22.2	48.0	42.9	16.5
その他	%	3.1	2.9	1.6	1.6	11.1	4.0	0.0	6.3
無回答	%	4.2	5.5	6.3	2.4	0.0	8.0	0.0	0.0

(6) 避難所を利用する際に必要な設備や仕組み 【複数（3つまで）回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 43

障がい児 問 41

○全体では、「物資（水や食料など）や器材の備蓄」（65.9%）と回答した割合が最も高く、「みんなのトイレやスロープ・手すりなどのバリアフリー化」（52.3%）と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がいでは「みんなのトイレやスロープ・手すりなどのバリアフリー化」、知的障がい、精神障がい、発達障がい・高次脳機能障がい、難病、障がい児では「物資（水や食料など）や器材の備蓄」、強度行動障がいでは「要配慮者の特性を踏まえて、避難生活に必要な空間（障がい者がパニックになったとき落ち着ける個室など）」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
みんなのトイレやスロープ・手すりなどのバリアフリー化	%	52.3	65.2	37.5	41.9	38.9	44.0	64.3	27.8
ラジオ・文字放送対応テレビ・筆談用具・ファックスなどがあること	%	19.0	18.0	18.8	27.4	11.1	24.0	35.7	7.6
車いす・歩行器・杖・補聴器・ストーマ装具・酸素ボンベなどの備蓄	%	26.0	35.9	10.9	18.5	5.6	12.0	42.9	12.7
物資（水や食料など）や器材の備蓄	%	65.9	61.4	68.8	66.9	38.9	68.0	85.7	83.5
要配慮者の特性を踏まえて、避難生活に必要な空間（障がい者がパニックになったとき落ち着ける個室など）	%	37.5	20.0	54.7	46.8	77.8	52.0	35.7	72.2
福祉関係職員（生活相談員やヘルパー等）がいること	%	31.2	28.4	31.3	26.6	55.6	40.0	21.4	44.3
その他	%	4.8	4.1	1.6	9.7	16.7	4.0	0.0	1.3
無回答	%	6.3	7.8	7.8	4.8	5.6	8.0	0.0	1.3

(7) 障がい福祉をより良くするために、必要なこと 【複数(3つまで) 回答】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 44

障がい児 問 42

○全体では、「相談のしやすさ」(48.1%)と回答した割合が最も高く、「情報取得のしやすさ、わかりやすさ」(45.1%)と続きます。

○障がい種別でみると、身体障がいでは「情報取得のしやすさ、わかりやすさ」、知的障がい、精神障がい、難病では「相談のしやすさ」、強度行動障がいでは「日常生活を支援する障がい福祉サービス等の充実」、発達障がい・高次脳機能障がいでは「情報取得のしやすさ、わかりやすさ」、「相談のしやすさ」、障がい児では「子どものすこやかな成長支援」と回答した割合が最も高くなっています。

	単位	全体	障がい種別						
			身体障がい	知的障がい	精神障がい	強度行動障がい	発達障がい・高次脳機能障がい	難病	障がい児
回答者数	件	669	345	64	124	18	25	14	79
情報取得のしやすさ、わかりやすさ	%	45.1	46.7	28.1	51.6	27.8	48.0	50.0	44.3
相談のしやすさ	%	48.1	44.1	53.1	54.0	50.0	48.0	64.3	49.4
健康を支える仕組み	%	14.8	15.9	10.9	19.4	16.7	20.0	14.3	3.8
日常生活を支援する障がい福祉サービス等の充実	%	37.4	42.9	15.6	25.8	66.7	44.0	42.9	39.2
働きやすい環境づくり	%	17.3	9.9	21.9	24.2	11.1	20.0	35.7	32.9
障がいに関する市民意識の向上(障がい特性・福祉に関する理解を深める)	%	22.1	16.2	32.8	25.8	44.4	32.0	14.3	26.6
誰でも交流できる環境づくり	%	9.4	8.4	14.1	8.9	5.6	12.0	0.0	12.7
子どものすこやかな成長支援	%	9.7	4.6	1.6	4.8	5.6	0.0	0.0	51.9
安全・安心に暮らせるまちづくり	%	29.1	35.9	35.9	22.6	11.1	8.0	28.6	15.2
自分らしく生きるためのサポート	%	22.6	19.4	25.0	29.0	33.3	20.0	35.7	20.3
その他	%	1.5	1.2	1.6	1.6	5.6	8.0	0.0	0.0
無回答	%	6.0	8.4	4.7	4.8	0.0	8.0	0.0	0.0

(8) 市の福祉施策についての意見・要望 【自由記述】

身体、知的、精神、行動、発達・高次、難病 問 45

障がい児

問 43

○市の福祉施策についての意見・要望として 177 人から記入がありました。

○記入のあった内容について、「第 7 期茅ヶ崎市障がい者保健福祉計画」（以下、現行計画）で推進する 6 つの基本方針と 12 の施策の方向性ごとに分類すると、「身近な地域の支援体制の強化」、「障がい者の生活基盤の強化」、「安全・安心のまちづくりの推進」に関する内容が多くありました。なお、同じ方から複数意見があった場合は、それぞれカウントしています。

基本方針	方向性	意見一例（要旨）
1 身近な地域の支援体制の強化	知る (20 件)	○福祉に関することは、自分から情報を集め、行動しないとわからないこと、支援を受けられないことが多い。 ○広報だけだと、見逃しやすいので個人向け（メールでも可）に情報がほしい。 ○サービスの内容や最新の情報など、定期的にメールや郵送等で案内してほしい。
	相談する (17 件)	○知っている人しか頼れない事が多く、もっと気軽に相談できる場所がほしい。 ○市役所の窓口が平日のみで、仕事を休むなどしないと行けないので、土曜日も対応してもらえると助かる。 ○発達について相談したくても、どの医療機関もいっばいで、新規は受け付けていないので、受け皿が増えるように行政に協力してほしい。
	理解を深める (19 件)	○ヘルプマークをつけている人に対して、どのようなサポートが必要かを周知してほしい。 ○市役所に障がい福祉の専門職を配置したり、研修を徹底してほしい。
	育てる (9 件)	○支援者（ヘルパーやガイドヘルパー）の人手不足や高齢化への対応が必要。 ○放課後等デイサービスなどの障がい者が利用できる施設について人材不足を解消し充実を図ってほしい。
	合計：65 件	
2 障がい者の健康を支える体制の整備・拡充	すこやかに生きる (6 件)	○今後自力で病院に通えなくなった時、介護付きタクシー等を利用する事になるため、支援をしてほしい。 ○18 歳を過ぎると、車イスや補装具を作りたくても、対応してくれる医療機関がなく、とても困る。
	合計：6 件	

基本方針	方向性	意見一例（要旨）
3 障がい者の生活基盤の強化	住まう (14件)	<p>○安心して預けられる入所施設、グループホームがほしい。</p> <p>○障がい者の入所施設又は通所施設が少ないと感じる。</p> <p>○親亡き後に安心して生活できる場所を作ってほしい。</p>
	生活する・利用する (20件)	<p>○短期入所施設がどこもいっぱいのため、施設を増やしてほしい。</p> <p>○医療的ケア児の保育園の利用時間が短いため常勤で復職が難しい。障がい児を産んだらパートになる選択肢しかないのはおかしい。</p> <p>○高校卒業後の日中一時支援サービスを充実させてほしい。</p> <p>○親は診断と同時に突然障がい児の親となり、ほとんどの人が素人で何の知識もない。代替りのきかない子育てゆえ、親のメンタルや健康が何より大事。その点も行政には考えてほしい。</p>
	人権を守る (5件)	<p>○差別等が少なくなれば良い。</p> <p>○障がい者は誰も好きでなった訳ではないので、温かく平等に見守ってほしい。</p>
	合計：39件	
4 社会参加と自己実現への支援	働く (2件)	<p>○決まった時間に休まず出勤することは困難なため、正社員になれたことがない。</p>
	社会参加・楽しむ (4件)	<p>○情報交換やコミュニティに参加する機会が平日しかないので、働く障がい者も参加が可能できるよう、土日にも活動する場があると良い。</p> <p>○友人との出会いの場や交流関係を豊かにする機会をもっと与えるため、放課後等デイサービス以外の子どもの交流場所があると良い。</p> <p>○シニア向けの健康体操や楽しめるプログラムを定期的に開催してほしい。</p>
	合計：6件	
5 障がいのある子どもの成長支援	学ぶ (12件)	<p>○特別支援級を全校に設置してほしい。</p> <p>○保育園や小学校で、特性のある子どもが安心して過ごせて、先生にも迷惑をかけなくて済むよう、子どもをみる大人の人数を増やしてほしい。</p> <p>○学区内の小学校に支援学級が開校して通っているが、中学校入学時は学区外になってしまう。コミュニケーションや環境に慣れるまでに時間がかかるため、学区内の中学校にも支援学級を開校してもらえたら、子ども達の精神的負担は軽減すると思う。</p>
	合計：12件	

基本方針	方向性	意見一例（要旨）
6 安全・安心のまちづくりの推進	安心して暮らす (36件)	<p>○道路の整備（歩道の段差、車イスでも移動しやすい道路など）。</p> <p>○バリアフリー化の推進（道路、建物、エレベーターの設置など）。</p> <p>○避難所の整備（エアコン、ベッドやプライベートが守れる囲いの設置、福祉避難所の整備など）。</p>
	合計：36件	
その他	感謝のメッセージ、アンケートに関する事、要望等 (72件)	<p>○アンケートが長すぎて負担になる。</p> <p>○経済支援の充実（生活のための経済支援（光熱費・家賃等）、タクシー・バス・電車代助成）。</p>
	合計：72件	

**第8期茅ヶ崎市障がい者保健福祉計画策定
アンケート調査報告書
【集計結果】**

発行日 令和8年1月

発行者 茅ヶ崎市 福祉部 障がい福祉課

住 所 〒253-8686 茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目1番1号

TEL 0467-81-7159
